



市議会議員  
**砂田喜昭**  
Tel 67-4322



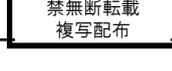
参議院議員  
**井上哲士**



参議院議員  
**たけだ良介**



衆議院議員  
**藤野保史**



衆議院議員  
**笠井あきら**

## 砂田喜昭のカナダ紀行

私は7月30日にカナダ・カルガリー空港に到着し、8月20日にトロント国際空港を出発するまで、娘夫婦と約3週間、カナダ大陸をRV車（キャンピングカー）で約5千5百キロ旅しました。

大陸の広大な自然（地平線まで続く麦畑）サスカチュワン州）と十数億年前の出来事が大地に記録されている様子（18・5億年前の巨大隕石が激突し直径200キロのクレーターができた場所）サドバリー市・オンタリオ州）に圧倒されました。

## カナダ国立人権博物館を見学して



マニトバ州ウイニペグ市にある国立人権博物館は、カナダでいちばん新しい5番目の国立博物館です（写真上）。入り口ではマホトマ・ガンジーの銅像が迎えてくれました（写真左）。

非暴力をつらぬいてインドの独立を勝ち取った指導者です。

この博物館はユダヤ人の実業家の願いから2014年9月にオープンしたもので、ナチスの迫害とたたかった人々の記録が一つの階を使って展示されていました。

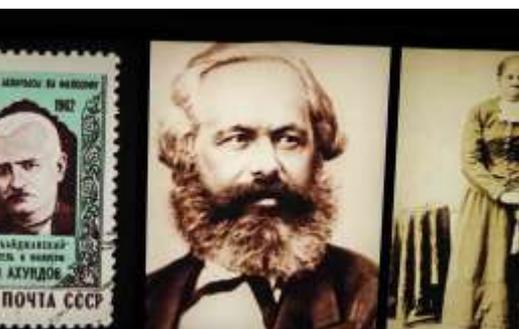
日本語のホームページにも詳しい解説が出ています（そのQRコードは下）。

<https://www.canada.jp/stories/post-70687>



## 世界の人権を守る人々とたたかいを展示

特別展示は南アフリカでアパルトヘイト（人種隔離政策）とたたかい、大統領になったネルソン・マンデラ氏の展示がありました。人権と自由のためにたたかった世界中の人々の顔写真が展示してあり、そこにはカール・マルクスの写真と1867年に資本論を刊行し労働者のために主張したと表示してありました（写真下）。



## 自国の加害の歴史も展示

私が注目したのは、カナダが人権侵害の加害者となった歴史を国立人権博物館で展示し、自国民にもそのことを知らせていることです。

### 日系カナダ人の強制収用に謝罪

第二次世界大戦中、日系カナダ人を強制収容所に押し込み、財産を没収したことについて、謝罪とともに展示してありました。1980年代になってから起きた全カナダ日系人協会を中心とした賠償請求運動も展示してありました（写真下）。



これを受けてカナダ首相が1988年に公式に謝罪し、賠償金を払うことが決定しました。これはオタワの戦争博物館を2007年に訪ねたときにも感心したことでした。その時の私のブログは次のページにあります（そのQRコードは上）。

<https://06996341.at.webry.info/200709/>

article 6.html

### 中国人労働者の過酷な使役にも

カナダが大陸横断鉄道建設工事に中国人を安い労働力として過酷に使ったことについても、2006年に謝罪したそうです。そのこともきちんと展示してあります。

### 加害の歴史を国民に隠す日本政府

ひるがえって、日本のことを考えると、戦争で日本人が犠牲になった原爆資料館などがありますが、日本の植民地支配やアジア侵略など加害の歴史について、自国民に考えさせる博物館はありません。それどころか、中国での旧日本軍による南京大虐殺事件や、韓国での従軍慰安婦問題、戦時中に日本企業が韓国人労働者を強制的に徴用して働かせた問題などについて、日本政府は公式にはほぼ認めているにもかかわらず、国民には真実を語るうとしません。今、日韓の関係が悪化していますが、加害の歴史を真摯に反省し、ドイツのように歴史に向き合おうとすることが、未来への友好の基本になると考えます。

人権博物館には見学者が意見を表明する場所がありました。私はそこで「日本国憲法を暮らして活かす。東アジアの平和と共存のためにたたかう」と日本語で書いてきました。